



2018年5月11日

各 位

会 社 名 オリンパス株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 笹 宏行
 (コード：7733、東証第1部)
問合せ先 広報・IR部長 櫻井 隆明
 (TEL. 03-3340-2111(代))

(開示事項の経過) 連結子会社の操業停止に伴う業績影響について

当社は、2018年5月7日付「連結子会社の操業停止に関するお知らせ」にて開示しました通り、同日付で中国・深圳市にある当社の中国現地法人 Olympus (Shenzhen) Industrial Ltd. (以下「OSZ」といいます)の操業停止を決議しました。本件が当社の連結業績に与える影響について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2018年3月期連結業績への影響

OSZ が設立から 26 年が経過し設備の老朽化が進んだこと等に伴い、固定資産の減損処理を実施したほか、繰延税金資産の評価性引当金計上等により約 24 億円の一時費用が発生しました。

2. 2019年3月期連結業績への影響

OSZ の操業停止に加えて、ベトナム・ドンナン省にある Olympus Vietnam Co., Ltd. (以下、「オリンパスベトナム」といいます) への生産ラインの移管等、一連の再編に伴う影響が生じる見込みです。業績に与える影響として見積もることが出来る費用は、現時点で約 40 億円となりますが、これらの費用については、再編の進捗により変動する可能性があります。

また、移管先であるオリンパスベトナムにおける生産量が目論んでいる水準に達するまで一定の時間を要することが見込まれております。そのため、映像事業においては、上記の費用発生に加えて、商品供給という観点で一時的に販売活動に対する制約も生じるため、業績もそれらの影響を受ける見込みです。今後、追加で開示すべき事項が判明した場合には速やかにお知らせいたします。

以 上